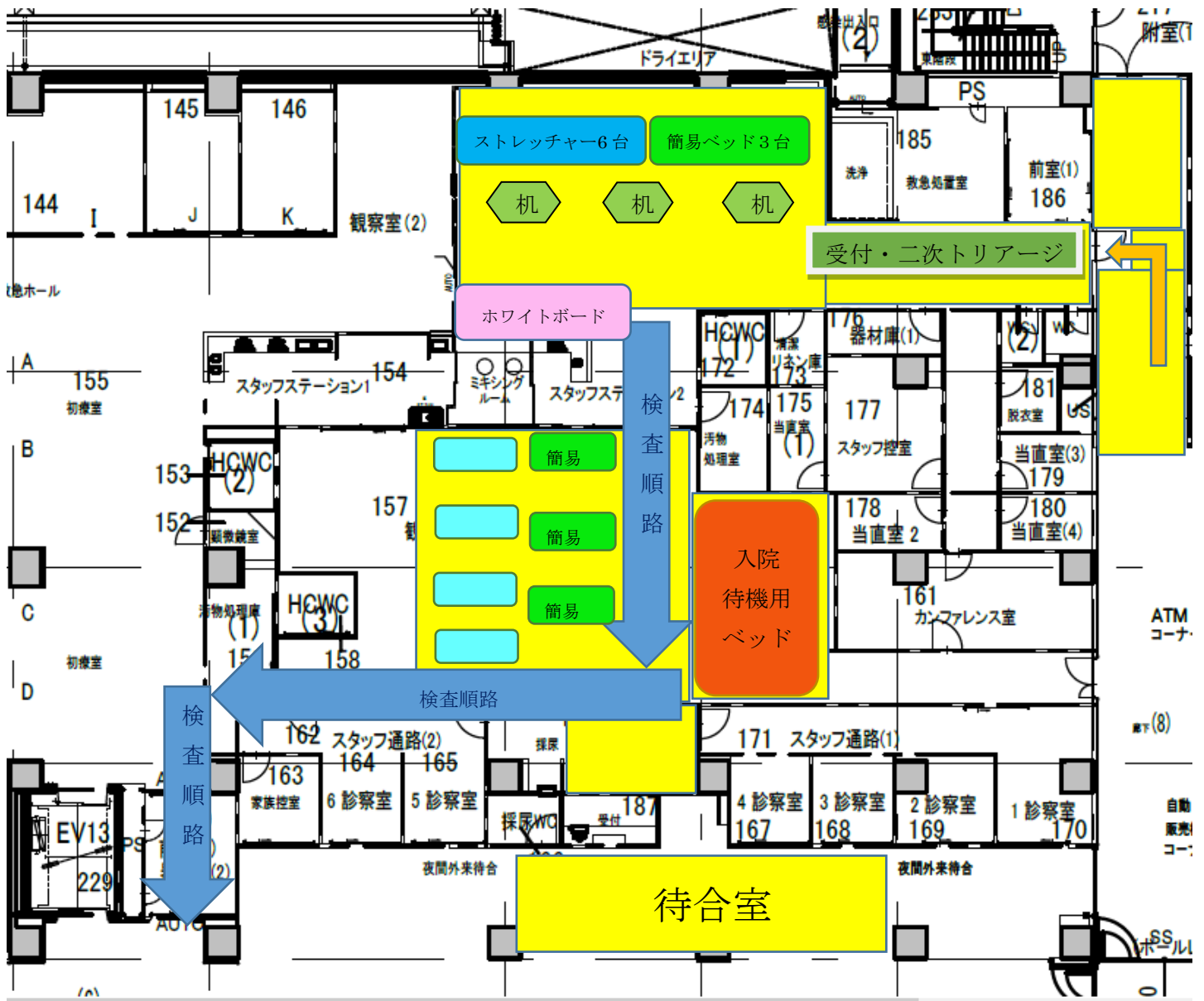


③ 災害時応急対策業務（新たに生まれる業務新設部署＋既設部署）

新設/既設	新設 黄色エリア	
業務	二次トリアージ	
業務種別	災害時応急対策業務	
設置場所	ER（観察室①③・処置室①②）	
責任者	リーダー医師	代行者：医師の配置がない場合、配置されたリーダー看護師
構成要因	・医師・看護師・医事課スタッフ	代行者：人員が足りない場合は災害対策本部に相談
役割及び活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本部判断により黄色エリアを開設する ・トリアージを行う（赤・緑エリア移行の判断） ・検査 ・応急処置 ・状況を本部に報告する ・ベッドコントロールに関しては本部の指示に従う 	
必要情報	災害概要 来院情報	情報がない場合、情報手段を工夫する（伝令、文書など）
必要物品	聴診器・ペンライト・災害カルテ・クリップボード・筆記具・マジック・ストレッチャー	ホワイトボードがない場合は広用紙で代用する
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・治療を終えても家や手段がなく院内にとどまる傷病者が多くなる。 ・要治療ではないがケアを要し帰宅する場所が決まるまでの待機者スペースと人員が必要。 ・行政と連携して避難所へのピストン輸送を行ったり他施設への域外搬送を検討する必要がある。 ・治療用資機材や医薬品だけでなく看護ケア用品が多く必要 ・マンパワー不足 ・各エリアに家族対応班の配置が望ましい 	
連絡先	リーダー医師 PHS（ ） リーダー看護師 PHS（ ）	

BCP 災害時ゾーニング【黄色ブース】



- ① 黄色タグ入室経路はタリーズ側から入室（上記オレンジ矢印）
 緑色ブースから黄色タグになった場合の入室もタリーズ側からとする。
 入室後受付を行い、二次トリアージ行き、初療室へ
 二次トリアージの中でCT等移動が必要な患者はストレッチャーへ乗せる。
 移動の必要が無い患者は簡易ベッドへ乗せる。
- ② 検査が必要な場合は検査順路に沿って（上記青矢印）に検査室へ 戻りも同ルートで
 初療が終わったら観察室へ移動させる。
- ③ 黄色観察室の中で、待合室で待てる人は待合室へ移動。
- ④ 入院となる場合は上記オレンジ枠入院待機用ベッドのところで待機。
- ⑤ 受付・二次トリアージが溜まる場合は、タリーズ側入り口奥にスペース有りそこで待機。
 待機者人数等は搬送班とコンタクトとる。待機人数を考え初療室を回転させる